

未来を開く 西武信用金庫 >2< 支店長に聞く

月2回のペースで掲載します

不動産賃貸の事業支援を通してネットワーク構築

原宿支店

情報・流行発信地の東京・原宿。ブランドショップや飲食店が軒を並べる表参道のほぼ中心地にあるのが当支店です。渋谷区神宮前と港区北青山、南青山という、アパレルや雑貨店が多い地区を営業エリアに19人でカバーしています。若手経営者による交流組織「西武ニューリダーズクラブ21」というのが各支店にありますが、当支店はその構成年齢が若いのが特徴で、取引先の経営者も20~30代が圧倒的です。

取引先の9割が法人で、業種としてはアパレルなどの小売業や美容院などのサービス業が8割を占め、不動産売買・賃貸業が2割です。取引金額でみると不動産

売買・賃貸業が8割、小売業・サービス業が2割と逆転します。事業支援/資産形成・管理支援活動としては、不動産賃貸業は税務・財務・法務相談や事業承継、小売・卸売業は販路開拓に向けた海外進出やインバウンド対応が多いです。

「原宿」というネームバリューを生かして、ユニークな商品の企画や新しい発想をもとにこの地区でビジネス展開を考える企業は多いのですが、ネットワークをもっていないと進出するのは難しいのが現状です。そのため不動産賃貸業の事業支援を通してネットワークを構築することで、企業進出の後押しをしています。地価が高いこの地区では、不動産賃

貸業に対する租税負担が課題となっていますので、ビルオーナーのキャッシュフローをさらに良好にして企業の体カアップを図ることなどを目的に、財務コンサルティングの派遣や収益改善策の提案などを行っています。

一方、参入してくる企業は創業間もない「アリーステージ企業。や成長過程の企業が多いです。販路拡大や海外進出、助成金や補助金申請に関する専門家の派遣だけでなく、ネットワークを活用した取引先企業のマッチングも行っています。こうした企業が成長していけば不動産賃貸業にとっても安定的な収入の確保につながります。

田村 康彦
執行役員
支店長



東京都渋谷区神宮前 6-10-11
原宿ソフィアビル5階
☎03・3479・1111



生活の木

ハーブ、アロマ関連商品の製造・販売、アロマセラピーサロンの運営などを展開し、小売店舗「生活の木」は2016年9月現在、国内に120を数える。アサイー、チアシードなど「スーパーフード」と呼ぶ穀物、種子類の品数が増えている。

社員数は約750人、うち約9割が女性。同社商品のファンだった層が社員になるケースも多く、顧客ニーズにきめ細かく対応できることを強みとしている。西武信用金庫との取引は40年におよ

ぶ。スリランカで「ネイチャーリゾート」をうたうホテル事業も展開しており、日本をはじめ欧米からの宿泊客の増加に対応し、ホテル設備拡充のため子会社「TREE OF LIFE (PRIVATE) LIMITED」に西武信用金庫より直接融資を受け、2017年秋の完成予定で工事が始まっている。設備拡充後、ホテルグレードが4つ層にアップする予定である。
▶本社＝東京都渋谷区神宮前6-3-8
▶代表取締役社長 重永忠氏一写真
☎03・3409・1928

<取引先紹介>

スマートフォンケースの製造や充電器の販売を展開している。おしゃれにこだわわる女性をターゲットに、アパレルショップなどでの販売を主体とすることで競合他社との差別化を図っている。充電器は海外ブランドの輸入販売が主流だが、リップスティック型やパフュームボトル型など、そのデザイン性が話題を呼んでいる。さらに「ホケモンGO」など一部スマホソフトの爆発的な人気により、今年7~9月には受注が大幅に増加した。昨年には安定した事業基盤の構築に向

ワンダーライン

け、商品購入サイクルの短い消耗品に着目したペットケア用品事業に参入。犬の肉球用クリームやシャンプー、ネイルオイルなどを伊勢丹や阪急百貨店で販売している。西武信用金庫は国の補助金申請でのアドバイスのほか、海外特許の取得などの専門家派遣で協力した。
▶本社＝東京都港区南青山6-10-9
▶代表取締役 西岡宏星氏一写真
☎03・3401・1888



<西武信用金庫>
◆創業＝1939年 ◆店舗数＝本店を含め72店舗 ◆従業員数＝1164人
◆貸出総額＝1兆2500億円 ◆預金総額＝1兆6436億円(2016年3月末現在)

薬師駅前支店

地域再生プロジェクトに沿った魅力ある街づくり支援



平井 真史
支店長

東京都中野区新井5-29-1
☎03・3386・2181

当支店は、東京と埼玉を結ぶ西武新宿線の新井薬師駅前から徒歩1分という、地域住民にとって利用しやすい場所に位置しています。中野区上高田・松が丘全域と新井4・5丁目を営業エリアに、職員16人（パート・派遣社員含む）が地元企業や地域住民に対してさまざまなサポートを行っています。今年、支店開設60周年を迎え、顧客などで組織している「薬師西武会」を中心に記念イベントを7月に実施しました。

営業エリア内は商店街のほか、一般住宅やアパート・小規模マンションなどが混在し、賃貸住宅を所有している資産家が多いのが特色です。このため、支店の

融資先のうち賃貸不動産業と個人が67%を占め、不動産を活用した資産形成や管理支援などに関する事業支援のほか、不動産を所有する個人向けには不動産管理法人の設立などを提案しています。また個人ローンや創業支援をはじめ、創業補助金など公的施策の活用案件も増えており、創業支援・ベンチャー企業の育成を目的に支店の4・5階をインキュベーションオフィスとして提供しています。

当金庫は今年2月、目白大学・同短期大学部と包括連携・協力協定を締結しました。今後、地域や企業との連携を積極的に進めていく予定ですが、当支店の独自の取り組みとして、大学新聞に掲載す

る地元企業の紹介をはじめ、新商品のネーミングやモニター協力などで取引先企業に大学生を紹介したりしています。

この地域はかつて、新井薬師（新井山梅院薬王寺）の門前町としてにぎわいを見せていましたが、近年は衰退傾向となっており地域活性化が大きな課題となっています。ただ、2014年1月に西武新宿線の連続立体交差事業（中井一野方駅間）が着工し、20年をめぐりに地下化される新井薬師駅前一帯の再開発も予定されています。こうした地域再生プロジェクトに伴って、地域金融機関として魅力ある街づくりへの支援をさらに強化していきたいと考えています。



フジキン光来

食品加工メーカーで、主力は冷凍・冷蔵食品の製造。「新信光来」ブランドの鶏肉炒XO醤などを、コープネット事業連合などに納入している。伊勢丹子会社の伊勢丹プチモンの食材加工部門を引き継ぐ形で1998年に創業した。本社工場（東京都中野区）と大田工場（同大田区）、千葉工場（千葉市若葉区）のほか、東京・新宿に飲食店をもっている。創業以来、事業の好不調を繰り返しながら事業を継続してきたが、企業として

の基盤整備や体質強化を図るため、約2年前に西武信用金庫のビジネスサポートを活用。専門家派遣をうけて財務改善を進めた結果、「企業改善5カ年計画」の半ばで業績が黒字転換した。新商品のネーミングでは目白大学短期大学部の学生の意見なども参考にしており、同短大との産学連携でも西武信用金庫がパイプ役を担った。
▶本社＝東京都中野区沼袋2-39-8
▶代表取締役社長 佐藤光男氏一写真
☎03・5318・3433

<取引先紹介>

工場設備や公共インフラ整備向けを主体に少量多品種の製造に特化している産業用コネクタメーカー。創業は1927（昭和2）年で、来年90周年を迎える。会社設立は43年。以来、「一歩先の技術」「一歩高い品質」「一歩早く迅速なサービス」に取り組んでいる。コネクタのほかにもダイカスト鋳造や光通信機器の製造・販売も手掛ける。

ものづくりの海外ソフトで国内マーケットの縮小が進む中、製品の高付加価値化や顧客の異なる要望にきめ細かく対応

七星科学研究所

することで成長し、ダイカスト鋳造も多様な製造力でも小ロットにも対応する。光通信機器は社内ベンチャーの成果として始めたもので、今後大きな期待がかかる。西武信用金庫とは98年頃から取引がスタート。昨年、端子検査装置を導入にあたり、「ものづくり補助金」を申請する際にも西武信用金庫が協力した。
▶本社＝東京都中野区上高田1-49-15
▶代表取締役社長 鈴木芳久氏一写真
☎03・3386・3181